



復刊第151号
題字 吉岡弥生

会長に就任して



会長 佐藤千代子

今期、再度会長に選出され、あらためての重責に緊張致しております。

現在、世代交替が社会の趨勢となつております中、日本女医学会も当然若い方々の発想、視点の転換にもとづく飛躍を願うべきでございます。バトンタッチすることこそ会への貢献であるのではないかと考えました。女医学会は皆様それぞれが熟年を迎えられましても重要な現職をお持ちでいらつしやいます。そのような方々に今、十二分にご活躍いただいでこそ将来の女医学会発展につながることを存じます。今期を少しでも充実し意義ある変革、前進に努力することこそ私に与えられた責任と考え精一杯尽くしたいと存じます。

幸い学術分野における指導とともに前東京女子医科大学副学長として新しい医学教育に携わつてこられた



副会長 石原幸子

副会長に就任して

橋本副会長、福岡市助役のご経歴に基づく社会に対する広いご識見、女医の活動を著しく増高された加藤副会長、小児科専門医として地域医療に専念されるときにも広い視野での思考と行動力の石原副会長のお三方を得ましたことを非常に心強く存する次第でございます。今期から常任理事会を廃し、毎月理事全員で鋭意運営にあたつてまいりたいと存じます。

このたび、佐藤千代子会長二期目の副会長として大役を果たすことに

おります。

現在、日本の医療制度も大改革を迫られております。既に改正が決まりました医療保険制度を皮切りに長年の懸案であった健保抜本改革を見据えて、厚生省は「医師の需給に関する検討」即ち医学部、医科大学入学生定員の削減、保険医の定年制等についても検討が開始されるなど差迫った状況を来たしております。介護保険に対しても医師の介在が必須であると考えます。医療行政にも積極的に参加してゆくべきではないでしょうか。

この医療制度の変革期を女医学会としては新しい飛躍へのハードルと考えたいと思ひます。心と身体に優しい医療、これこそ医の本質でありましょう。自己の生活体験、社会経験からの思いやりと女性独自の感性に基づく医療は社会から期待されているところでございます。女医学会の存在が広く評価されることを目標に、一人でも多く女性医師の力を結集いたしたいと願つております。

なりました。二〇〇二年に創立一〇〇年を迎えようとする日本女医学会の

もくじ

会長に就任して	佐藤千代子	(1)
副会長に就任して	石原幸子	(1)
副会長に就任して	加藤 竺子	(2)
副会長に就任して	橋本 葉子	(2)
新監事に就任して	中濱 昌子	(3)
新監事に就任して	野澤 良美	(3)
〈各部の抱負〉		
庶務部/橋川ふさ子 (4)	会計部/川田喜代子 (4)	
学術部/大澤真木子 (5)	渉外部/田中 蘭子 (5)	
事業部/丸茂 晶子 (5)	広報部/大坪 公子 (6)	
〈新役員に就任して〉		
新理事に就任して	澤口 彰子 (6)	
〈第42回日本女医学会定時総会〉		
会長あいさつ	佐藤千代子 (7)	
定時総会議事録		(8)
吉岡弥生賞を受賞して	内潟 安子 (10)	
吉岡弥生賞を受賞して	母乳育児を広める会 (10)	
荻野吟子賞を受賞して	佐分 妙 (11)	
地域功労賞を受賞して	梅原 ミヤ (11)	
地域功労賞を受賞して	堀内 三子 (12)	
学術研究助成を授与されて	岩平 佳子 (12)	
学術研究助成を授与されて	石井のぞみ (12)	
学術研究助成を授与されて	加藤 庸子 (13)	
第42回定時総会の裏方として	斉藤 歌子 (13)	
国際女医学会議について	平敷 淳子 (14)	
香川 綾先生のご逝去を悼んで	石原 幸子 (14)	
〈支部だより〉		
東京都支部連合会	大畑 信子 (15)	
評議員会議事録		(15)
理事会議事録		(15)
会員動静		(16)
編集後記		(16)

●新役員各部担当者●

	理事長	副会長	会長
庶務	鹿田 儀子 清水 洋子 橋川 さ子 宮原 茂子	石原 幸子	佐藤千代子
事業	久田 タカ 松本 文絵 丸茂 晶子 吉崎 富美子		
会計	青井 禮子 川喜 代子 栗原 久子	加藤 竺子	
渉外	田中 蘭子 松井 ひろみ		
広報	大坪 公子 佐々木 和子 村田 郁	橋本 葉子	
学術	大澤 真木子 澤口 彰子 西嶋 攝子 平敷 淳子		
監事/中濱 昌子・野澤 良美			

然として存在し、アカデミック・ハラスメント(アカハラ)が問題になり、女性研究者や教育者が団結する気運が起きていると報道されております。このような社会情勢の中、女性の社会的地位の向上を願って設立された日本女医会は、西暦二〇〇二年に創立一〇〇周年を迎えます。一〇〇周年に向かってインパクトの強い事業計画を立て、女性医師の心意気を社会に示すことができなかと考えるこのごろです。

私は現在、国際女医会西太平洋地域担当の副会長として、毎年役員会議の行われますケルンに出かけ、国際女医会の動静を見ておりますが、この地域、どの国でもそれなりの問題を抱えていることがよく分かります。日本では全然問題にならない

ことが、ある国では非常に深刻な問題のこともあります。日本女医会員としての利点の一つは、国際女医会員でもあるため、世界の女性医師と繋がりを保てることだと思います。これからは世界的視野を持つて医療活動をしなければなりません。専門が異なる分野でも、真に世界の女性医師と話し合える医師になれるよう、皆様後輩を日本女医会にご紹介下さい。これからは若いエネルギーが威力を発揮する時代になるのですから。



監事 中濱 昌子

新監事に就任して

理事在任中は、会長先生のご指導のもと、役員の方や会員の先生方のご協力によりまして、何とか無事に過ごさせて頂きました。長い間有難うから感謝いたします。

ごさいました。紙面を借りてお礼申しあげます。

このたび、監事をお引受けすることになりました。六年前に監事になられた先輩の〇先生が、監事の仕事を



監事 野澤 良美

新監事に就任して

このたび副会長という重責ある役を無事果たさせて頂くことができました。これは、ひとえに佐藤会長先生をはじめ理事諸先生方のお力添えのおかげと心より感謝申し上げます。いろいろと有難う存じました。なお監事として、お役に立たせていただくことになりましたが、何分にも浅学非才のため今後ともご指導賜りたいと願っております。

只今、日本女医会にとりましても非常に大切な時期に遭遇していると思っております。今後の充実、発展、活発な活動のためには、何と申しましても会員数の増加、会費の値上げ等(第40回定時総会II大宮ソニックシティにおける)永遠の課題であり責任であると考えます。会員の諸先

した。日本女医会では、公認会計士さんをお願いしております。ベテランの会計の理事の先生たちや事務の正木さん(会計担当)もいらっしやいます。会員の先生方の大切な会費をお預りしております。会計部、監査です。監事の域を弁えてしっかりと努めてまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

生方の絶大なご協力とともに、きびしく経過を見守り検討してまいりたいと願っております。

また現在の社会環境の中で女医として医学・医療を通じて社会と関連を持った活動を展開して行かねばならないと考えますので、人口問題、男女共同参画(一、〇〇〇年プラン等)に対しても今後とも活発に活動を行ってまいりたいと願っております。また来たる日本女医会一〇〇周年記念等につきましても希望で胸がいつぱいです。

今後とも会員諸先生方の力強いご協力を切にお願い申し上げますとともに微力ながら努めてまいりたいと願っております。

輝かしい歴史を考えます時、一層身の引締まる思いが致します。顧みますと、私が、理事をお引受けしてから六期目に入ります。最初は若手として、のんびり先輩の後について役目を果たしてまいりましたが、いつのまにか囲り若し理事が一杯になり、私を引張って下さった先輩のなつかしいお顔が消えてしまったことは淋しい限りでございます。幸い今回の副会長は九州福岡で名声を馳せる官僚出身の加藤竺子先生と、大学教授を引退され論理に強い橋本葉子先生と敏腕家が揃いましたので、私と致しましてはただ丈夫な体を駆使して、会長の手となり足となり走り廻り、体力でお役に立ちたいと考えております。

私が最初に理事をさせて頂きたい時代の会長は三神先生でした。ついで山崎会長、佐藤会長と三代にわたってお世話になりました。それぞれ個性のある立派な方で、それをサポートする副会長も堂々とした方ばかりだったことを記憶しております。温厚な三神会長、人の意見を右から聞いて左へ聞き流す度量をお持ちでした。正義の味方山崎会長は、曲ったことは大嫌い、絶対容赦しないあの潔癖性は、日本人にはない大陸育ちの英国人ではなかったのかしらと今なつかしく思い出しております。

佐藤会長は、その明晰な頭脳を以て山崎路線の上に、さらに新しい附加価値を引いていった方です。自由にものがいえる明るく開かれた理事会

になった反面、時々常軌を逸する意見も出されましたが、会長は冷静に判断し、実に細かいたるところまで目を通し、是正し、常識ある女医会の姿勢を進めて参りました。誠に三者三様、多才な会長の下でいろいろ勉強させて頂いていただきましたことは私にとりましても幸甚であったと感謝しております。この経験が少しでも今後のお役に立てばよいと思っております。前期、私は庶務を担当し、会員増加の方法に苦慮致しましたが、この女医会をどのように継続し、発展させながら次の時代に渡すかは、さやどの会でも当り前の時代になりましたが、この伝統ある女医会は、同じ知性の集団として、常に輝いた存在でなくてはならないと思っております。理事会も一歩先を見据えて二十一世紀への方向付けを考えてゆきたいと思っております。

来たる9月には医療法の改正があり、一段と医師に厳しい時代がやって参ります。また女医の重要なポストでありました保健所長は必ずしも医師でなくてもよいのではないかとこの際も疑問があり、これは幸い却下されましたが、女医会と致しましては絶対反対の声明文を提出致しました。このように一人では不可能なことも女医会としては社会に、政治にアピールすることが出来ます。お若い方は一生懸命勉強してください。子育てが終り、ホッと一息ついた方々か

らどうぞ女医会の集まりをのぞいてみてください。きつと安堵と、自信と、楽しみを見付けることができると思います。

今回女医会は定款を改正し、理事会を一本化致しました。狭い事務所



副会長 加藤 竺子

副会長に就任して

このたびの役員改選で因らざるも副会長の一翼を担うことになり、果たして私ときがその重責を果たすことができるか、内心、忸怩たるものがございますが、折角ご推薦いただきましたので少しでもご期待に添うよう、遠隔地というアクセスの悪条件を克服しながら私なりに努力してゆきたいと思っております。

幸にも佐藤会長はご再任であり、橋本、石原、副会長はベテランの常任理事でいらしたので大船に乗った思いです。加えて理事、監事の先生方がそれぞれ有能な先生ばかりで、きつと教えていただくことが多く、勉強になると思っております。このような機会を与えて頂いたことを前向きにとらえて頑張りたいと思っております。

何しろ女性医師は年々増加しており、各専門分野でめざましい活躍をされている方が着実に増えており、二十世紀の社会での女性医師の活躍

の中で肩を並べて一層親密な会を重ねております。会員の皆様にとってより楽しく、有意義な会になりますよう非力ながら精一杯努力致す所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

に希望と期待が膨らみます。それだけに女性のプロフェッショナルとして十分に活躍できるための職場環境づくりと生活環境づくりへの支援体制が必要で、女医会がどれだけ役割を果たせるか、大きな課題



副会長 橋本 葉子

副会長に就任して

5月24日に行われました日本女医会総会時の役員選挙において、理事・監事は無投票当選でしたが、会長、副会長の選挙が行われ、不肖橋本も副会長の一人に選ばれました。未だ早すぎるとは思いましたが、折角選ばれましたのでお引き受けいたしました。

只今、日本女医会では、公認会計士さんをお願いしております。これは若い女性医師は男女の差別なく教育を受けてきたこと、専門に関する学会が多すぎるため会費の納入が大変なこと、社会的経験が少ないことなどによるものと考えられます。一方、各大学では未だに男女差別は歴

と確実に訪れている高齢少子社会、国際化、情報化の急速な進展、日本経済の低迷など、多くの不安材料をかかえた二十世紀末ですが、いかなる時代にも、人間ありき、国際女医会のシンボルマークでもあるギリシャ神話の健康の神、ヒューギエイアの「MATRIS・ANIMO・CURANT」母の心で癒す」をモットーとして医療に尽くす誠実な女性医師の活動は必須であり、古代ギリシャの時代もこれからは変わらないういうプライドとエネルギーを大切にしたいものです。

佐藤会長を中心に三年間伝統ある日本女医会の発展のために役員の方々と共に明るい希望をもって楽しく頑張りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

各部の抱負

庶務部

理事 橋川ふさ子

庶務部を担当させていただいてから今回で三期目になりますが、年率は重ねても未だにおたおたしております。幸にも適確な判断とパワーをお持ちの鹿田先生と若いエネルギーで頑張られる宮原先生、情熱をもって対処される清水先生と一緒に出発することになりました。

庶務部の仕事は広範囲にわたり、多難が予想されます。毎月の理事会の資料作り、総会の準備、冠婚葬祭、名簿作り等々がございます。

平成9年5月には第42回定時総会が東京都支部連合会の協力も得て盛大に無事終了しました。総会において佐藤会長が再選されました。そして新理事が二三名誕生しました。隔月に開催されてきました常任理事会が廃止されまして、毎月理事会が開かれることになりました。その分、議決進行が速やかになり良い結果になることと思っております。

来年度の総会は宇都宮で開催されることになりました。定款の一部改正も、たび重なる厚

生省との折衝の末、受理されました

会計部

理事 川田喜代子

事業部より会計部に移りまして本年度二期目となります。中濱副会長をはじめ、ベテランの先輩青井理事と栗原理事の下でいろいろご指導をうけ何とか三年間を夢中で過ごして参りました。今期からは担当副会長にいろんな点で大へんスマートな加藤先生を迎えて先輩方の足手まといにならないよう努めたいと思っております。

かえりみますと、地区医師会(大阪市浪速区)の会計を振出しに、関西大同窓会、大阪ソントクラブ等々の会計をやって参りましたが、日本女医会の会計が、扱い額こそ多くありませんが、一番きめ細かく上手

ので、改定事項も新たに記載し、そして名簿の見直しをしまして、新名簿を作り、今年中にできるだけ早くお届けしたいと考えております。今年も会員増加の推進という大事な課題も引続き検討してゆきます。特に若い先生の入会のお誘いについてのご意見をお待ちしています。先生方の一層のご指導ご協力を賜りまして、スムーズに責任を果したいと念っております。

にやりくりされているように思います。また、総会での会計報告も懇切丁寧で、これは一重に先輩会計諸師の伝統とご努力の賜と感じ入っている次第で、今後、私も会計部の一員として勉強していかなければと思っております。

さて、平成7年度の総会において会員の皆様方の深いご理解により十五年ぶりで会費を年額八〇〇〇円から一〇〇〇〇円に値上げさせていただきました。ご支援ご協力に心から感謝すると同時に、この貴重な財源を会のためにできるだけ適正有効に使わせていただきたいと思いますので、その使途についても適切

第18回学術研究助成のご案内

会員の学術研究に対し、助成事業を行っております。希望者がありましたら応募要項にしたがって、事務局あて申請くださるようお願いいたします。

- 一、助成の趣旨
医学分野の発展向上を図り、後進の研究助成を目的とする。
- 二、助成金額
一件 三十五万円(五件)
- 三、申込手続
(1)応募資格
入会継続三年以上経過した日本女医会会員で個人、またはグループ(ただし、グループ研究においては会員が研究推進の中心的役割をになうものであること)
- (2)助成期間
一年を原則とする。同一人が重ねて申請する場合は、三年以上の間隔を置く。
- (3)応募方法
本会所定の用紙に、黒インキまたはワープロで記入。一通を提出(用紙は事務局へ請求のこと)
- (4)申込期間
平成九年十二月二十五日(木)(必着)
- (5)選考および発表方法
選考委員会において選考の上、平成九年三月開催の日本女医会理事会において決定し、申請者あて通知する。
- (6)助成金の贈呈
平成十年五月開催の日本女医会総会の席上。
- (7)受賞者の本会に対する義務
平成十一年三月末日までに研究経過報告(B5原稿用紙三枚)と助成金使途についての簡単な収支報告を提出すること。
- (8)送り先 日本女医会本部 〒150 東京都渋谷区渋谷二一八七
電話 〇三三四九八〇五七一

なご助言をお待ちしております。
「会員の増強」は会として一番の命題でございますが、会計の柱が会計に頼っている現状では特に会計の立場から声を大にしておねがひいたします。

学術部

理事 大澤真木子

橋本葉子理事、平敷淳子理事と共に、学術部担当の理事に再選されました。大変光栄に存じます。学術部には西嶋穉子理事、新たに就任されました澤口彰子理事のお二人に加わって頂き、従来の伝統を踏襲しつつ、新しいアイデアを取り入れていきたくと考えております。

医学部における女子学生の比率は年々増加しております。女子学生の比率が30%から40%の医学部が一般的です。先輩の先生方の時代に比べればはるかに優遇されているとは思いますが、まだ「差別」に悩んでおられる方もおられます。学術部では研究助成を引き続き行い、女医の多くの先生方の研究と総合力増強に役立てて頂きたいと考えています。また、吉岡弥生賞候補もどんどん本部までご紹介・ご推薦ください。今年、セミナーやワークショップを東京だけでなく、地方で開催

また、再度で申しわけありませんが、「会費の銀行口座自動振替制度」(現在約40%の方にご利用がなっています)納入にご協力ください。ようくれぐれもよろしくお願ひ申し上げます。

また、再度で申しわけありませんが、「会費の銀行口座自動振替制度」(現在約40%の方にご利用がなっています)納入にご協力ください。ようくれぐれもよろしくお願ひ申し上げます。

する予定であります。地方の評議員の先生のご立案で学術部が共催の形をとることも可能ですし、逆も可能です。とりあえず10月頃大阪で学術講演会を開催したいと考えております。地方における学術講演会を経済的に実施するために、講師を努めて頂けそうな会員の先生方が、各種学会で地方に出られた時を利用して講演会を開くことも5月の総会の場で提案されました。学術部では可能な方の講演リストを作成したいと思っております。とくに教育機関にご勤務の指導者の先生方には積極的にご予定をお教え頂きたい、よろしくお願ひ申し上げます。

昨秋の学術講演会「働く女性と育児」では国公立八十校の女子医学生へもお知らせを出しました。多数の先生さんの参加があり好評でございました。今は、まさにPRの時代！本部から外へ目を向け行動して

渉外部

理事 田中蘭子

女医会理事三期目となり、今期は加藤先生、松井ひろみ先生に加えて、渉外部に席を頂きました。わが国では、初の婦人参政権より半世紀を経て、一般にも男女平等意識が高まりつつある現在となりました。特に近年、女性問題協議会が、内閣総理大臣直属の官房室を始め、各地方自治体にまで広く設置され、侃々諤々の議論が各地でなされるのを聞

事業部

理事 丸茂晶子

理事数を減らし、能率を主眼とした、理事会が平成9年度から新しく発足いたしました。敏腕なる石原副会長をトップとして松本、久田、吉崎、丸茂の五名が担当となりました。なんとか限られた予算の中で有意義な活動をするよ

うに努力してゆきたいと考えております。とりあえずの行事は例年のごとく
◇公衆衛生活動
公開講演会の開催
例年通常年二回全国各地で行い、一般に対する啓蒙を目的とし、出

来だけタイムリーなテーマで、女医なればこそ見える問題を取りあげ、こまやかな計画で行われることを念願しております。
◇医療奉仕への助成
日本女医会員の関与するグループの各地域での医療、公衆衛生などの奉仕活動に対し助成を行います。(規約によって審査)
◇荻野吟子賞
各支部よりの推薦を診査し原則として一名表彰いたします。どうか各支部よりご推薦をお願いいたします。
◇支部助成
会員一名につき二〇〇円支部へ還元いたします。
◇年金
年金は女医会の相互扶助の精神で行われています。加入者の多いことで有利になりますので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。
◇一般向け健康保健雑誌「いきいき」へ投稿
毎月会員諸先生のご経験あるお話を、ご執筆願っております。ご助言あればよろこんでお受けいたしますので、建設的なご意見をお待ちしております。

広報部

理事 大坪公子

広報部は橋本葉子副会長のもとに...

くださいました。長い間本当に有難うございました。

新役員のことば

新理事に就任して



理事 澤口彰子

このたび、日本女医学会会長佐藤千代子先生をはじめとして...

国際シンポジウムのお知らせ

ペルーから下記のシンポジウムの案内が届きました。このシンポジウムに参加ご希望の方は...

International Conference "AT THE THRESHOLD OF THE MILLENNIUM" CULTURE - ENVIRONMENT - GENDER - VIOLENCE

LIMA, APRIL 15-20, 1998

国際会議 「二千年代を迎えるに当たって」 主なテーマ：文化 - 環境 - 性 - 暴力

リマ、1998年4月15日～20日

現在考えられているトピックス：

- "Knowledge, culture and development"
"The Perplexities of the future: sects and millenarisms"
"The end of two centuries of revolutions and new humanisms"
"Productive development and environmental conservation"
"Public health and human development"
"The Spanish legacy to Latin America: a balance"
"The gender question in the world of economics"
"Women's literature at the end of the century"
"End-of-the-millennium women's view of men"
"Joint enterprises between former warring parties: a step towards peace"
"Building a culture of peace"
"Paving the way to tolerance"

荻野吟子賞推せんりんどう

平成九年 荻野吟子賞 授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。

りです。法医学においても、この分野の研究に素晴らしい報告が多く見られます。

第42回日本女医学会定時総会

とき 平成9年5月24日
ところ 京王プラザホテル

会長あいさつ

会長 佐藤千代子

このところ、お天気まで五月病と言われているようですが、本日もまた、何か日本の世相を反映しているような曇り空でございます。

ておられます。会誌を通じて、あるいはまた直接支部へ伺いましてこの状況を目の当たりに拝見いたし、そのつど、大変感激をいたして帰る次第でございます。

このごろ、いよいよ現実を直視せざるを得なくなりまして高齢社会、ますます多様化する社会、そしてまた世界の中の日本の位置、どの面から考えましても、健康が基盤であるということは申すまでもございせん。

対応できますよ、うな研鑽を重ね尽力したいと存じております。皆様のご指導、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

在意義も、社会に期待される女医像ということも映し出しまして、大変意義のあることではないかと存じております。

日本女医学会は一〇〇周年を目前に控えまして、執行部といたしましての責任は非常に重大であると、いつも心に銘じております。

後ほど各部の事業報告が行われますので、この一年間の事業につきましては要点のみにて省略させていただきます。

提出されました動議を採択し、ご承認をいただきまして、保健所長資格の見直しに関する要望書を地方分権推進委員会に提出いたしました。

吉岡弥生賞推せんりんどう

平成九年吉岡弥生賞授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。

- 一、自筆履歴書
二、業績
イ、医学に貢献した現会員。
ロ、社会に貢献した現会員。
三、推せん理由

各賞と研究助成

吉岡弥生賞を受賞して



東女医大支部 内潟 安子

この度第42回日本女医学会総会にて平成8年度日本女医学会吉岡弥生賞を頂く栄誉に恵まれました。ご推薦な

熱を駆り立てたのであります。医学部を卒業したのち、私は全身を総合して診ていく科を希望して、まず小児科を選びました。



吉岡弥生賞を受賞して

群馬支部

母乳育児を広める会

このたびは、日本女医学会から「吉岡弥生賞」という栄誉ある賞をいただき、そのうえ貴重な資金から私ども

公開講演会開催依頼について

各支部におかれまして公開講演会を開催して頂き、各地の実情に合ったテーマ、演者、日程を組んで、公衆衛生活動にご参加くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

各賞と研究助成

吉岡弥生賞を受賞して



東女医大支部 内潟 安子

この度第42回日本女医学会総会にて平成8年度日本女医学会吉岡弥生賞を頂く栄誉に恵まれました。ご推薦な

熱を駆り立てたのであります。医学部を卒業したのち、私は全身を総合して診ていく科を希望して、まず小児科を選びました。



吉岡弥生賞を受賞して

群馬支部

母乳育児を広める会

このたびは、日本女医学会から「吉岡弥生賞」という栄誉ある賞をいただき、そのうえ貴重な資金から私ども

公開講演会開催依頼について

各支部におかれまして公開講演会を開催して頂き、各地の実情に合ったテーマ、演者、日程を組んで、公衆衛生活動にご参加くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

荻野吟子賞を受賞して



愛知支部 佐分 妙

日本女医学会愛知支部からのご推薦を得まして、日本女医学会の名譽

各賞授賞者と授賞理由

ある活動に対し授賞。

吉岡弥生賞

一貫して糖尿病を中心とする自己免疫病、特にインスリン自己免疫症候群の発症機序の解明に数々の業績

母乳育児をひろめる会

日本女医学会群馬支部の小児科医グループは十年前「母乳育児をひろめる会」を設立。全国的規模による

地域功労賞を受賞して



宮城支部 梅原 ミヤ

第42回日本女医学会総会において、地域功労賞をいただきまして、身に

地域功労賞を受賞して

ある活動に対し授賞。

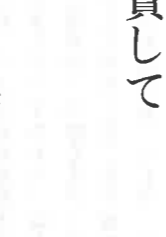
荻野吟子賞

昭和30年より整形外科医として肢體不自由児の療育に専念するとともに

優功賞

長年にわたり、国際女医学会において顕著なる活動をされ、その功をも

地域功労賞を受賞して



宮城支部 梅原 ミヤ

第42回日本女医学会総会において、地域功労賞をいただきまして、身に

地域功労賞を受賞して

ある活動に対し授賞。

荻野吟子賞

昭和30年より整形外科医として肢體不自由児の療育に専念するとともに

優功賞

長年にわたり、国際女医学会において顕著なる活動をされ、その功をも

経営で決して自慢できる仕事ではないと、城島女医会に感謝申し上げ、日本女医学会のますますのご発展をお祈りし、改めてお礼を申し上げます。

▼地域功労賞を受賞して



長野支部 堀内三子

このたびは思いもよらない立派な賞を頂き身に余る名譽でございます。ご推挙下さいました諸先生方のご配慮に心から感謝申し上げます。今から四十七年前のことでございますが、農村の開業医だった義父が突然脳梗塞で倒れましたので代って私が診療に当りました。義父は、病人に休みはない」という信念で毎日診療していたので村人からは大変慕われていました。それだけに私も一生懸命頑張らなければなりません。また一男二女の母親の立場

▼学術研究助成を授与されて



大田支部 岩平佳子

このたびは日本女医学会学術研究助成を賜り有難うございました。乳癌術後の乳房再建の仕事を始め

ました当初は、ただ腹直筋や広背筋といった皮弁が無事に生着し、乳房の形態が再建されれば充分という感

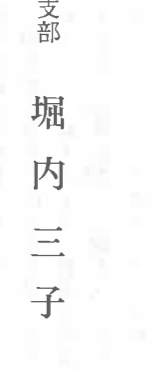
がありました。しかしその後、患者さんたちの飽くなき要求に半ば押される形で、より対称的な少しくも自然に近い乳房を再建する事を追求しなければならぬようになりました。その後、人工物の普及とトランプなどの症例に適した方法での再建が確立されつつあるといえます。しかし米国立がんセンターの報告が増加しつつあるにもかかわらず、再建に関する理解度は外科医の間でも決して上昇の一途とはいえず、まだまだ患者さんが一人悩みを抱えているケースも少なくないようです。

以前、学術講演の際にもお話しさせて頂きました。自分が女医として、女性の形成外科医という立場を生かせる道であった乳房再建という仕事にめぐりあえた事は非常にラッキーでした。女性には依然としてマイノリティーではありますが、たとえ「ブラジャーのおさまり具合が悪い」「オープンネックのTシャツを着ると、まだ鎖骨下の凹みが目立つ」といった患者さんの要求はなかなか男性の先生には理解できないことではないでしょうか。今回のテーマも実際、なかなか戻らない感覚、触覚、温冷覚、痛感等をいかにして回復させるかといった内容ですが、女性同志だから話しやすいといった部分も多分にあるようです。

今後ますます意欲的に研究してゆきたいと思っております。最後に私事でありますが、大学

末筆ながらご推薦下さいました宮城島女医会に感謝申し上げ、日本女医学会のますますのご発展をお祈りし、改めてお礼を申し上げます。

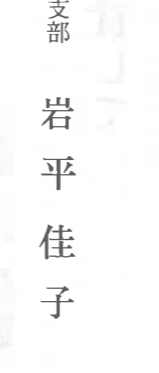
▼学術研究助成を授与されて



愛知支部 加藤庸子

このたびは、貴重な基金から私どもの「重症脳血管障害に対する軽度脳低体温療法の効果」に日本女医学会学術助成を賜り厚くお礼申し上げます。

▼学術研究助成を授与されて



大田支部 岩平佳子

このたびは日本女医学会学術研究助成を賜り有難うございました。乳癌術後の乳房再建の仕事を始め

ました当初は、ただ腹直筋や広背筋といった皮弁が無事に生着し、乳房の形態が再建されれば充分という感

がありました。しかしその後、患者さんたちの飽くなき要求に半ば押される形で、より対称的な少しくも自然に近い乳房を再建する事を追求しなければならぬようになりました。その後、人工物の普及とトランプなどの症例に適した方法での再建が確立されつつあるといえます。しかし米国立がんセンターの報告が増加しつつあるにもかかわらず、再建に関する理解度は外科医の間でも決して上昇の一途とはいえず、まだまだ患者さんが一人悩みを抱えているケースも少なくないようです。

以前、学術講演の際にもお話しさせて頂きました。自分が女医として、女性の形成外科医という立場を生かせる道であった乳房再建という仕事にめぐりあえた事は非常にラッキーでした。女性には依然としてマイノリティーではありますが、たとえ「ブラジャーのおさまり具合が悪い」「オープンネックのTシャツを着ると、まだ鎖骨下の凹みが目立つ」といった患者さんの要求はなかなか男性の先生には理解できないことではないでしょうか。今回のテーマも実際、なかなか戻らない感覚、触覚、温冷覚、痛感等をいかにして回復させるかといった内容ですが、女性同志だから話しやすいといった部分も多分にあるようです。

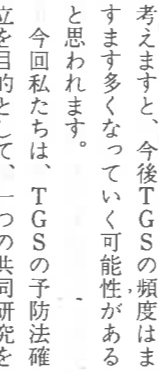
▼学術研究助成を授与されて



杉並支部 石井のぞみ

このたびは、日本女医学会学術研究助成を賜り、心から感謝申し上げます。

▼学術研究助成を授与されて



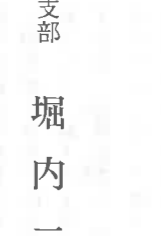
杉並支部 石井のぞみ

このたびは、日本女医学会学術研究助成を賜り、心から感謝申し上げます。

間分解能)、第二は色、第三は動きと立体視(方向選択性、輝度の感度)の情報処理に関与していると言われております。そこで私たちは、光図形過敏性を起こす要素を四つに分けて検討し、視覚経路のどの系がもつとも鋭敏に反応し、いかなる要素を備えた光図形がけいれん発作を惹起しやすいかを明らかにすることとしました。

このたびは、貴重な基金から私どもの「重症脳血管障害に対する軽度脳低体温療法の効果」に日本女医学会学術助成を賜り厚くお礼申し上げます。

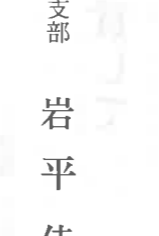
▼学術研究助成を授与されて



愛知支部 加藤庸子

このたびは、貴重な基金から私どもの「重症脳血管障害に対する軽度脳低体温療法の効果」に日本女医学会学術助成を賜り厚くお礼申し上げます。

▼学術研究助成を授与されて



大田支部 岩平佳子

このたびは日本女医学会学術研究助成を賜り有難うございました。乳癌術後の乳房再建の仕事を始め

ました当初は、ただ腹直筋や広背筋といった皮弁が無事に生着し、乳房の形態が再建されれば充分という感

がありました。しかしその後、患者さんたちの飽くなき要求に半ば押される形で、より対称的な少しくも自然に近い乳房を再建する事を追求しなければならぬようになりました。その後、人工物の普及とトランプなどの症例に適した方法での再建が確立されつつあるといえます。しかし米国立がんセンターの報告が増加しつつあるにもかかわらず、再建に関する理解度は外科医の間でも決して上昇の一途とはいえず、まだまだ患者さんが一人悩みを抱えているケースも少なくないようです。

以前、学術講演の際にもお話しさせて頂きました。自分が女医として、女性の形成外科医という立場を生かせる道であった乳房再建という仕事にめぐりあえた事は非常にラッキーでした。女性には依然としてマイノリティーではありますが、たとえ「ブラジャーのおさまり具合が悪い」「オープンネックのTシャツを着ると、まだ鎖骨下の凹みが目立つ」といった患者さんの要求はなかなか男性の先生には理解できないことではないでしょうか。今回のテーマも実際、なかなか戻らない感覚、触覚、温冷覚、痛感等をいかにして回復させるかといった内容ですが、女性同志だから話しやすいといった部分も多分にあるようです。

その他のソフトができるように、本研究を続けていくにあたって、今回いたしております。

治療として脳低体温療法が再度見直され、その効果は ①脳内 Hemoglobin の防止、②脳内興奮性神経伝達物質放出の抑制による細胞内Caの増加防止、③シナプス損傷機構による神経細胞死の防止、④脳内毛細血管内圧低下による脳浮腫と頭蓋内

以上のような研究への助成を、深く感謝いたします。

今後の日本女医学会に新たな発展、前進が期待されます。

私ども支部連合会は、総会開催の裏方の役をお引き受けし、大過なくつとめさせていただきます。



愛知支部 加藤庸子

▼学術研究助成を授与されて

このたびは、貴重な基金から私どもの「重症脳血管障害に対する軽度脳低体温療法の効果」に日本女医学会学術助成を賜り厚くお礼申し上げます。

▼学術研究助成を授与されて

このたびは日本女医学会学術研究助成を賜り有難うございました。乳癌術後の乳房再建の仕事を始め

ました当初は、ただ腹直筋や広背筋といった皮弁が無事に生着し、乳房の形態が再建されれば充分という感

がありました。しかしその後、患者さんたちの飽くなき要求に半ば押される形で、より対称的な少しくも自然に近い乳房を再建する事を追求しなければならぬようになりました。その後、人工物の普及とトランプなどの症例に適した方法での再建が確立されつつあるといえます。しかし米国立がんセンターの報告が増加しつつあるにもかかわらず、再建に関する理解度は外科医の間でも決して上昇の一途とはいえず、まだまだ患者さんが一人悩みを抱えているケースも少なくないようです。

以前、学術講演の際にもお話しさせて頂きました。自分が女医として、女性の形成外科医という立場を生かせる道であった乳房再建という仕事にめぐりあえた事は非常にラッキーでした。女性には依然としてマイノリティーではありますが、たとえ「ブラジャーのおさまり具合が悪い」「オープンネックのTシャツを着ると、まだ鎖骨下の凹みが目立つ」といった患者さんの要求はなかなか男性の先生には理解できないことではないでしょうか。今回のテーマも実際、なかなか戻らない感覚、触覚、温冷覚、痛感等をいかにして回復させるかといった内容ですが、女性同志だから話しやすいといった部分も多分にあるようです。

今後ますます意欲的に研究してゆきたいと思っております。最後に私事でありますが、大学

第42回定時総会の裏方として

東京支部連合会 会長 斉藤歌子

平成9年5月24日開催の第42回日本女医学会定時総会は、厳粛な中にも終始和やかに進行し、無事に終了致しましてご同慶に存じます。

同日、日本女医学会本部役員改選も行われました。今回より常任理事制が廃止され、理事の人数が減少されましたが、佐藤千代子会長の再選、副会長に、石原幸子先生、橋本葉子先生、加藤悠子先生のお三方以下、新進気鋭の理事の方々を選出され、

今後の日本女医学会に新たな発展、前進が期待されます。

私ども支部連合会は、総会開催の裏方の役をお引き受けし、大過なくつとめさせていただきます。

地域医療奉仕活動に対する助成について

標記について希望者を募集いたします。各地域において日本女医学会会員の関与する医療、公衆衛生などの奉仕活動に対して、診査の上助成をしております。日本女医学会規定の応募用紙がございますので、それに記入の上、12月25日までにお申し込みください。詳細は日本女医学会事務局にお問い合わせください。 事業部

一晩ご帰国をのばされ、歌舞伎観劇をとお申し出の先生方のため団菊祭の昼の部、夜の部の切符も用意いたしました。五十六名がご参加になりました。以上で支部連合会の企画は、滞りなく終了しまして、連合会員一同ホッといたしました。

今回の総会は、躍動にみちた新執行部の誕生した、意義深い総会でございます。この総会開催を陰で支えるお役目を、無事果たすことができたことは、連合会員一同のご協力のおかげと、皆様から感謝いたしております。日本女医学会本部の事務、正木様、霜田様、小林様に一方ならぬお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

私も連合会員一同、設立の主旨にそい、今後とも本部に協力してまいります。今後のご発展、躍進を期待しております。

国際女医学会について

— ナショナル・コーディネーターから

理事 平敷 淳子

国際女医学会と各国の女医学会との連絡を数年前からナショナル・コーディネーターと呼ぶようになり、今期本役を続けて務めさせていただきます。国際女医学会本部はドイツのケルンにあり、本部から年二、三回、膨大な資料が送られてまいります。この資料は佐藤会長、橋本葉子西太平洋地域副会長と本部に全部コピーをしてさしあげ、さらに要旨を理事会でご報告しております。国際女医学会の活動はWHOをはじめユニセフなど広範囲につながっております。必要に応じて会誌に内容を掲載していただき、さらに急を要するものには入選を理事会でおこない、ご本人にお願いをして

きましたことは、連合会員一同のご協力のおかげと、皆様から感謝いたしております。日本女医学会本部の事務、正木様、霜田様、小林様に一方ならぬお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

私も連合会員一同、設立の主旨にそい、今後とも本部に協力してまいります。今後のご発展、躍進を期待しております。

一九九八年がナイロビ(ケニア)二〇〇一年がシドニー(オーストラリア)と決定しています。ナイロビの会議は当初12月開催の予定でしたが8月または11月頃に変更されるかもしれません。大勢のご参加をお待ちしております。シドニー会議の次の二〇〇四年には、日本で開催したいという意志表示は橋本葉子副会長が既に国際女医学会本部においてなられた折に、なされて下さっております。

支部だより

東京都支部連合会

支部連合会学術部 大畑 信子

当会では、毎年二回講演会を行い、日進月歩する医学の学習と診療の向上を図っております。

平成9年度第一回の講演会は、塩野義製薬(株)と共催し、7月9日、京王プラザホテルにおいて開催されました。

特に今回は猿田亨男先生をお迎えし、「高血圧治療の動向」について特別講演をいただきました。

猿田先生はご承知のとおり、高血圧症、腎臓病の第一人者でいらつしやう、慶應義塾大学医学部内科学教授、同大学医学部長・同大病院副院長のほか日本内科学会・日本腎臓病学会・日本高血圧学会の理事その他多くの学会の役職をなさっており、大変お忙しい中を曲げてご来臨賜りました。

そして、豊富な治療経験と貴重なデータを用いて解説していただき、さらに歯切れよい、すばらしいご講義により高血圧治療の最新の動向を知ることができました。早速、明日からの診療に役立たせていただきたいと、参会者一同感銘を深く

す。5月の東京での総会の折にも、山崎名誉会長からの開催にむけての力強いご賛同が得られました。日本女医学会結成から一〇〇年、二〇〇四年の会議開催国としてのプレゼンテーションはケニアで行うこととなります。もうあと一年。若い先生方にもご参画の上、開催準備のための委員会発足も理事会で承認されました。よろしくご協力をお願い致します。

国際女医学会の三年のターンとは別に西太平洋地域会議も三年に一回ずつ開催されております。一九九九年は韓国のソウルで行われます。ソウル開催のプレゼンテーションは前回のオランダで行われました。きれいなビデオを使っての立派な

香川 綾先生のご逝去を悼んで

常任理事、石原 幸子

香川綾先生は平成9年4月2日九十七歳の天寿を全うされました。私は先年、日本女医学会において、賞を差上げました折、ご長女の芳子先生と、しっかりと足取りで壇上に立たれたのをお見かけしたばかりでしたが、そのお姿が、私どもの大先輩、吉岡弥生先生の面影と重なったことが、今でも印象に残っております。

先生は明治32年和歌山県でお生まれになり、十四歳でお母様を亡くされ

会費納入について

会計部

常々会費の納入につきましては、ご協力を賜っております。再度のお願いで恐縮でございますが、納入を銀行の自動振込または郵便局の自動振替の方法をご採択賜りますれば幸いです。

手続き用紙が必要でございましたら、事務局にご連絡いただき次第お送り申し上げます。

今期もよろしくお願いいたします。

その時の無念の思いが医師になるきっかけと伺っております。東京女子医専卒業後、東大の島内内科に入局され、教授から「お米の炊き方」をテーマに与えられ、研究を重ね、白米食から玄米食を主食とすればビタミンB₁の欠乏に役立つことを提唱されました。昭和5年、教授のご紹介で教室の香川昇三氏と結婚され一女三男を設けられました。

この時代の乳幼児の死亡率は高く

仕事を続けながらの育児は、「殺さない」ことを基本方針とされたそうです。戦時中は校舎の焼失、学校疎開等と経験され、計画は五年十年という単位で区切り、誠意を以てすれば必ず成就するとの信念のもとに、新しい視野に立ち、専門学校、短期大学、栄養大学と次々に設立され、一代にして学校法人香川栄養学園を完成されました。昭和20年にはご主人が急逝され、ほとんどお一人で、育児、学校経営をきりもりされ、その苦勞は大変なものだったと想像致します。しかしお子様方はおのの立派に成人され、学者、経営者として、学園と共に大きく成長されました。先生はさぞご満足な老後をお過ごされたことと存じます。あの大きなキャンパスの中の講堂に美しい花で飾られた先生のお幸せそうな笑顔がすべてを語っているようでした。

ご冥福をお祈りいたします。

閉会の辞

野澤良美 午前11時59分閉会

理事会議事録

日時：平成9年3月22日(日) 午後2時00分
場所：東京キャピタルクラブ
出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、石原、稲生、栗原、佐々木、橋本、橋本、平敷、松井、大坪、加藤、川田、鹿田、田中、西嶋、久田、村田、吉崎、南雲、野呂、藤岡(以上24名)
欠席者：青井、佐野、野本、丸茂、大澤、佐伯、清水、松本、宮原、山本 (以上10名)

1月理事会議事録を承認
議事検討事項
一、庶務報告 久田理事
別紙どおり報告、承認される。
二、会計報告 川田理事
平成9年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。
三、各部報告
【渉外部】 松井常任理事
男女共同参画推進会議出席の報告。えがいてネットワーク出席の報告。
【学術部】 橋本常任理事
2月22日に開催の講演研修会出席者約二〇名、成功裡にて終了。
講演研修会のビデオを作成中。
M W I Aよりサウジアラビアから

会長挨拶

佐藤千代子

一、会務および事業報告 村田 郁
配布済みの資料にもとづき報告
二、平成8年度特別会計報告 西嶋攝子
吉岡弥生賞基金会計
国際女医学会記念事業基金会計
年金会計
以上について配布済みの資料にもとづき報告

議長選出 前田慶子 (議長着席)
議事録署名人選出 井上柳子

評議員会議事録

日時：平成9年5月24日(日)
場所：京王プラザホテル
東京都新宿区西新宿2-2-1
午前10時30分開会
司会：橋川ふさ子

社団法人日本女医学会評議員会開催に際し
評議員数 一〇八名
出席者数 六九名
記名委任数 一六名
白紙委任数 七名

以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数に達し、評議員会が成立する旨の報告あり開会を宣す。

第1号議案
(1)平成9年度一般会計収支計算書
配布済みの資料にもとづき説明
原案どおり可決 栗原久子
(2)剰余金処分案 栗原久子
次期会計へ繰り越すことを原案
どおり可決 藤岡邦子
監査の結果適法かつ正確である
ことを認める旨の報告あり。

第2号議案
平成9年度事業計画案
庶務部 中濱昌子
会員増加推進 中濱昌子
吉岡弥生賞 中濱昌子

第3号議案
平成9年度一般会計収支予算案
原案どおり可決 青井禮子

第4号議案
二〇〇四年国際女医学会設立候補の件
原案どおり可決 佐藤千代子

第5号議案
次期および次々期総会開催地に関する件
次期開催地 栃木県
次々期開催地 北海道(予定)
原案どおり可決 佐藤千代子

長崎県支部後藤すみ子評議員より「支部活性化の方法」との質問があり、各支部から会員増強方法ならびに活動現況に関する報告があった。本部としてもこの課題は重要項目であり検討を継続する。

のグラント募集の紹介。

【広報部】 稲生常任理事

・第一五〇号会誌割付会議を3月25日に開催予定。

四、定時評議員会、定時総会、選挙について

・定時評議員会、定時総会での議事の報告者を決める。

・選挙のない場合はビデオ鑑賞の用意をする。

・ミニバザーを行うので全理事が希望価格を付け二、三出品する物を次回理事会時に持参する。詳細は事業部で検討。

・「議題」(二〇〇四年国際女医学会日本誘致について)を前向きに検討することに決定。

五、平成9年度事業計画案および予算案について

・今年度収入は年金手数料の増加分繰越金が増収となり、会計部が作成した昨年度並の予算案を全員賛成で承認。

・今迄管理費に組み入れていた総会費用を来年より事業費に組み込む。

六、国際女医学会について

・従来通り阪急交通社、JTB、日通旅行社の三社に依頼する。

七、その他

・医療奉仕への助成金を4月理事会において東京女子医大地域保健研究会に授与することを再度承認する。

以上

副会長(庶務部担当) 白浜

石原、橋川、鹿田、

久田、村田

理事会議事録

日時：平成9年4月26日(土)

午後3時30分より

場所：京王プラザホテル

出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、

青井、石原、稲生、佐々木、野本、

橋川、橋本、松井、丸茂、大坪、加

藤、川田、佐伯、鹿田、清水、田中、

西嶋、久田、松本、宮原、村田、吉

崎、南雲、野呂、藤岡、山崎名誉会

長 (以上30名)

欠席者：栗原、佐野、平敷、大澤、

山本 (以上5名)

理事会開始に先立ち東京女子医大

地域保健研究会に助成金として二〇

万円を授与する。

3月理事会の議事録を承認。

議事検討事項

一、庶務報告 村田理事

別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 青井常任理事

平成9年3月分収支別紙どおり報

告、承認される。

三、各部報告

【渉外部】 松井常任理事

・総理府男女共同参画室発行の小冊

子「えがりてネットワーク」の紹介。

【事業部】 丸茂常任理事

・バザーの準備進行中。

・吉岡弥生賞授賞決定の「母乳育児

をすすめる会」より謝辞があった。

【広報部】 稲生常任理事

・第一五〇号会誌まもなく完成予定。

【學術部】 橋本常任理事

・今年度は東京以外の地域で研修会

等開催する意向。

・5月初旬に行われる国際女医学会

役員会に出席予定。

【会長報告】

・選挙立候補者は定員内であったた

め選挙は行わない。

四、総会について

(1)平成8年度収支決算及び平成9

年度予算案——別紙資料に基づき検

討する。

(2)評議員会および総会次第——別

紙通り決定。また、昨年同様所要時

間を短縮するよう心掛ける。

(3)会務報告(案)——別紙送付済み

資料に基づき検討、校正する。

(4)次々期総会開催地——次期候補

として栃木県支部、次々期候補とし

て北海道支部が予定されているとの

報告があった。

(5)バザー開催——詳細は事業部に

一任するが、円滑な運営ができるよ

う全員で協力する。

五、二〇〇四年国際女医学会開催国

立候補について

会議のテーマを決定し、国際女医

会へ申請する方向で今後も検討する。

六、選択的夫婦別姓に関する民法改

正を求める要望書提出について

一会員より「女医会」として要望

書を提出して欲しいとの意見があり

討議した。理事会としては賛成であ

るが総会に提案し会員の総意を得て

決定する。

七、アンケート依頼について

東京ウイメンズプラザからの紹介

で「ビルに関しての意識調査のアン

ケート」の依頼があり討議したが、

結論を保留し前向きに対処すること

決定。

八、その他

東京シテイククラブの会員権を今

後どうするか諮ったが、解約するこ

とに決定。

以上

副会長(庶務部担当) 白浜

石原、橋川、鹿田、

久田、村田

会員動静

入会者(敬称略)

埼玉支部 柴崎道子、西田幸子、

水野ひとみ、矢部京子

千葉支部 渡利弘子

練馬支部 伊藤孝子

東女学内支部 角田由美子

中神朋子

長野支部 堀内三子

富山支部 内村富士子

大阪第8支部 中山真知子

佐賀支部 真子弘子

退会者 二二名

物故者(敬称略)

北海道支部 山口とも

豊島支部 香川綾

山梨支部 石原たけち

兵庫支部 木下万寿栄

福岡支部 斉藤初江

鹿児島支部 田上貞子

集記

第42回日本女医学会定時総会も無事

終了した。佐藤千代子会長のもとに

石原幸子、加藤悠子、橋本葉子の有

能な三人の副会長がそろい、新理事

会も活気あふれるものとなった。

二〇〇四年の国際女医学会の開催国

として立候補しようではないか、と

熱気ある検討もなされている。全理

事が心をついにし前進している姿が

見られ、清々しい思いがする。

会費の納入は銀行または郵便局よ

りの自動振込み制度の利用をおすす

めしたい。まだ手続がすすんでいない

会員は本部に問い合せていただきた

い。広報部は各支部の活動を積極的

に載せてゆきたいので、原稿を本部

まで送って欲しい。この夏も暑さに

負けずに女医として活躍ください。

あかしやの花びら舗道を白く染むる

夏の真昼に往診をする (大坪)

日本女医学会誌

第151号

平成9年8月25日発行

編集人 大坪公子

発行人 大坪千代子

制作 佐藤剛

発行所 社団法人日本女医学会

東京都渋谷区渋谷2-8-7

青山宮野ビル 電話 03-3498-0571

〒150 FAX 03-3498-8769